

# 施策・現行計画

# 市全体に係る計画等

- 市の総合的な振興、発展を目的
  - ✓ こだいら21世紀構想
    - 小平市第3次長期総合計画基本構想—(平成18～32年度)
  - ✓ 中期的な施策の取組方針・実行プログラム(平成29～32年度)
- 人口減少克服、地方創生を目的
  - ✓ 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27～31年度)

# 個別計画等

- 農業
  - ✓ 小平市第二次都市農業基本構想～市民と共につくる農のある快適なまち こだいら～(平成19～28年度、29年度延長)
- 商業
  - ✓ 小平市商業振興基本計画(平成15～19年度)
  - ✓ 小平市商店街の活性化に関する条例(平成19年度～)
- 観光
  - ✓ 小平市観光まちづくり振興プラン(平成26～35年度)
- 工業
  - ✓ 小平市工業振興ビジョン(平成3年度～)
- 都市計画
  - ✓ 小平市都市計画マスタープラン(平成29～38年度)

# こだいら21世紀構想

## —小平市第三次長期総合計画基本構想—

### ● 計画期間

- ✓ 平成18年度（2006年度）から平成32年度（2020年度）

### ● 施策の体系

- ✓ 安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして - 地域・安全・生活・文化 -
- ✓ 快適で、ほんわかとするまちをめざして - 緑・水・環境 -
  - 貴重な緑を生みだす。（緑）

#### （1）公園と緑

都市の宅地化がいつそう進み、今後、緑はますます貴重で公共性を高めることになると考えられます。市民、行政を問わず、宅地や空間地の緑化や屋上・壁面の緑化をはじめとして、緑の保全とともに新たな緑を生み出し、また環境にやさしい自然豊かな特色ある公園の実現をめざします。

# こだいら 21世紀構想

## —小平市第三次長期総合計画基本構想—

### (2) 公共の緑

玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道などの自然が豊かな貴重な財産の活用については、さらに多くの市民に愛され利用されるために、関係機関と連携してその魅力を増やすことに努めます。また事業所などについても、生け垣や植栽などで緑の公共性を高め、環境にやさしい身近な緑を積極的に生み出していくことを進めます。

- 地球環境を視野に入れる。（環境）

#### (1) 地球環境への配慮

地球温暖化や大気汚染などの地球規模の環境悪化を少しでも防ぐ必要があることから、温室効果ガスの排出規制など、市民・事業所・行政が連携して具体的な数値を定めて対応策を実施するとともに、環境美化や環境にやさしい新しいエネルギーの活用を進め、環境に配慮した生活の実現をめざします。

# こだいら 21世紀構想

## —小平市第三次長期総合計画基本構想—

- ✓ 健康ではつらつとしたまちをめざして - 時税第育成・健康福祉・教育・生涯学習 -
- ✓ 住みやすく、希望のあるまちをめざして - 都市基盤・交通・産業 -
  - 活力ある産業の展開を目指す

### (1) 商工業

社会の変化により、新しい商工業のしくみや意識の改革が求められており、今後は、地域の消費への対応とともに、小平グリーンロード（市内一周緑道）を有効活用して集客機能を高めるなどの工夫によって、事業者・消費者・行政が連携しながら、個性豊かな商工業のさらなる展開をめざします。

### (2) 都市農業

都市の農業は作物を育て収穫するとともに、教育の場の提供や人々にうるおいを与えてくれます。新鮮で安全な作物を提供し、安定した都市型農業として信頼されるために、農地の保全や新しい農業のかたちも含めた農業経営の取り組みを、市民とともに支援していきます。

- ✓ 健全で、進化するまちをめざして - 地方自治・行財政 -

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### 趣旨

- ✓ 基本構想を受けて、施策大綱に基づいた4年間の施策の取組方針を示すとともに、各分野で重点的に推進するテーマを掲げ、4年後の到達目標とそのため具体的な事業・事業量（経費）を計画するものであり、各年度の予算に反映されるもの。

### 期間・ローリング

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
<b>基本構想15年間</b>														
前期基本計画														
実施計画3年間					取組方針・実行プログラム4年間					取組方針・実行プログラム4年間				
実施計画3年間					" 3年間					" 3年間				
実施計画3年間					" 2年間					" 2年間				
実施計画3年間					1年間					1年間				
実施計画3年間					" 3年間					" 3年間				
実施計画3年間					" 3年間					" 3年間				
実施計画3年間					" 3年間					" 3年間				
実施計画3年間					" 3年間					" 3年間				

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### ● 平成25～28年度の達成状況

《中項目③ 活力ある産業の展開をめざす。》

テーマ1 地域に根ざした商業の推進	H24	H28	目標
目標1 食を通じた地域活性化事業実施数（4年通算）	—	30	12
目標2 市内で購入物をしている人の割合（世論調査）	80.7%	82.6%	85.0%
テーマ2 身近で質の高い農業の推進	H24	H28	目標
目標1 認定農業者数	60	63	80
目標2 小学校給食における地場産農産物納入率	21.1%	28.4%	25.0%
目標3 小平産農産物の購入状況率（世論調査）	40.7%	35.4%	45.0%



# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (2) 快適で、ほんわかとするまちをめざして

#### ① 貴重な緑を生み出す。(緑)

##### テーマ1 「市民参加・協働による緑の保全・創出」

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
グリーンロード推進協議会への補助					
事業経費	3,368	3,368	3,368	3,368	13,472
	オープンガーデン、ガーデニングコンテスト等への補助				

#### ③ 地球環境を視野に入れる。(環境)

##### テーマ1 「新エネルギー・省エネルギーの推進」

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
高効率照明化の推進					
	48,019	46,167	46,167	46,167	187,265
事業経費	公共施設照明設備 道路上の市管理街路灯 自治会防犯灯、商店街街路灯	※商店街街路灯はH29年度で改修完了			

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ③活力ある産業の展開をめざす。(産業)

##### テーマ1「地域に根ざした商業の推進」

##### ・取組の方針・内容

商工業、農業、観光など産業の部門間連携だけでなく、産学官でも連携しながら事業を実施します。

また、小平商工会、金融機関、NPO法人等と協調し、意欲ある創業者に対する支援を拡充するとともに、引き続き意欲ある事業者に対する支援を行うことで地域のにぎわいを創出していきます。

子育て中の女性の就労促進については、地方創生事業の一環として整備した、こだいらコワーキングスペース「すだち」を活用した「子育て中の女性の就労促進事業」を推進していきます。

小平商工会や商店会については、消費の市内還流を目指した取組や組織強化に繋がる事業に対し、引き続き側面的支援を行っていきます。

##### ・4年後の到達目標（平成29年度～平成32年度）

『市内で購入をしている人の割合』：85%以上（平成28年度世論調査82.6%）

『創業支援事業計画に基づく支援対象者数』：4年間で900人以上（平成27年度93人）

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ・事業の年次計画

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
新・元気を出せ！商店街事業					
事業経費	15,024	15,024	15,024	15,024	60,096
	商店会補助				
チャレンジ企業応援事業					
事業経費	2,534	2,534	2,534	2,534	10,136
	補助事業（毎年採択）				
創業支援事業					
事業経費	4,178	4,178	4,178	4,178	16,712
	個別相談窓口、創業セミナー、創業塾の実施等				

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ・事業の年次計画

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
市内店舗改修等補助事業					
事業経費	4,010	4,010	4,010	—	12,030
	市内建設事業者を活用して改修工事等を行った場合に補助			(検証の上検討)	
子育て中の女性の就労促進事業					
事業経費	8,609	8,609	8,609	8,609	25,073
	スキルアップ研修の実施等				

※事業経費：平成30年度以降は見込み（単位：千円）

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ③活力ある産業の展開をめざす。(産業)

##### テーマ2「身近で質の高い農業の推進」

##### ・取組の方針・内容

認定農業者を中心とした意欲ある農業者を支援するため、農機具及び農業用資材等の購入に対しての補助を拡充するなど、農業経営の向上を図っていきます。

また、質の高い安心できる農産物を身近に感じ地産地消及び食育を推進するため、地場産農産物の流通促進や学校給食へのさらなる導入促進を図っていきます。

##### ・4年後の到達目標（平成29年度～平成32年度）

認定農業者数：4年間で80戸以上（平成28年度63戸）

小学校給食における地場産農産物の納入率：30%以上（平成28年度28.4人）

『小平産農産物の購入するようにしている人の割合』：45.0%以上（平成28年度世論調査35.4%）

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ・事業の年次計画

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
地域農業担い手支援事業					
事業経費	3,800	3,800	3,800	3,800	15,200
	認定農業者・中小規模経営者支援				
畑からまっしぐら事業					
事業経費	2,400	2,400	2,400	2,400	9,600
	資材補助、直売所補助				
都市農業活性化支援事業					
事業経費	58,593	—	—	—	58,593
	ナシ根域制限栽培システム設置(7カ所)、防災兼用農業用井戸設置(4基)	(提案事業に応じて毎年度予算計上)			

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ・事業の年次計画

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
小学校給食地場産農産物利用促進事業					
事業経費	5,142	5,142	5,142	5,142	20,568
地産地消推進事業					
事業経費	1,390	1,390	1,390	1,390	5,560
都市農地保全支援プロジェクト					
事業経費	27,000	—	—	—	27,000
	防災兼用農業用井戸設置	(提案事業に応じて毎年度予算計上)			

# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ③ 活力ある産業の展開をめざす。(産業)

##### テーマ3 「地域が主体となる観光まちづくりの推進」

##### ・ 取組の方針・内容

地域活性化のひとつの手段として「観光まちづくり」に取り組みます。

「都会から一番近いプチ田舎」をキャッチフレーズとして策定した「小平市観光まちづくり振興プラン」に基づく事業展開について、平成28年6月に設立した「こだいら観光まちづくり協会」に対して支援をすること等で実現を図り、観光交流人口の拡大による地域活性化につなげます。

小平観光まちづくり協会で実施する事業の例としては、「歩くまち小平」として、鉄道駅を中心とした、小平の魅力が感じられるモデルコースの設定及びPRに取り組む「まち歩き事業」等が予定されております。

また、市の「プチ田舎」としての特色である都市農地等について、魅力ある地域資源として市民の愛着につながる取組も行い、住み続けたいまちづくりにつなげます。

#### ・ 4年後の到達目標（平成29年度～平成32年度）

「アクションプラン50」の達成状況：6プラン全て実現



# 小平市第三次長期総合計画

## 新 中期的な施策の取組方針・実行プログラム

### (4) 住みやすく、希望のあるまちをめざして

#### ・事業の年次計画

事業名	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	合計
観光まちづくり推進事業					
事業経費	20,873	21,689	18,423	18,423	79,408
	こだいら観光まちづくり協会 運営支援、歩行者用観光案内 標識更新等				
グリーンロード産業活性化事業					
事業経費	3,368	3,368	3,368	3,368	13,472
	オープンガーデン、ガーデニ ングコンテスト等への補助				
地域と歩む農業推進事業					
事業経費	2,100	2,100	2,100	2,100	8,400
	市民が農に親しむ事業に対す る補助				

# 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 小平市人口ビジョンにおける 人口の将来展望

- 小平市の推計人口は、2060年時点で14.5万人程度になることが見込まれます。
- 小平市の合計特殊出生率が、2040年までに国民の希望出生率である1.8程度まで上昇すると、2060年における小平市の人口は16.5万人程度となります。
- 将来にわたって社会増の状態を維持します。
- 年齢構成のバランス維持を通じて持続可能な地域社会を実現します。

## 市の総合戦略における基本的視点

- 緑豊かな自然環境を活かしたまちづくり
- 新たな賑わいの拠点づくり
- 小平市の情報発信の推進
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 市内における“しごと”をつくる
- 市民参加や大学等との連携の推進



市の総合戦略で目指すまちづくりのイメージ「市民がいきいきとした“プチ田舎”なまちづくり」

# 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- 基本目標

- ✓ 「住み続けたいまちの空間をつくる」⇒ “まち”

- ①農のあるまちづくりの推進
- ②ゆったりとした快適なまちづくりの推進
- ③ “住んでみたい” まちづくりと魅力の情報発信

- ✓ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」⇒ “ひと”

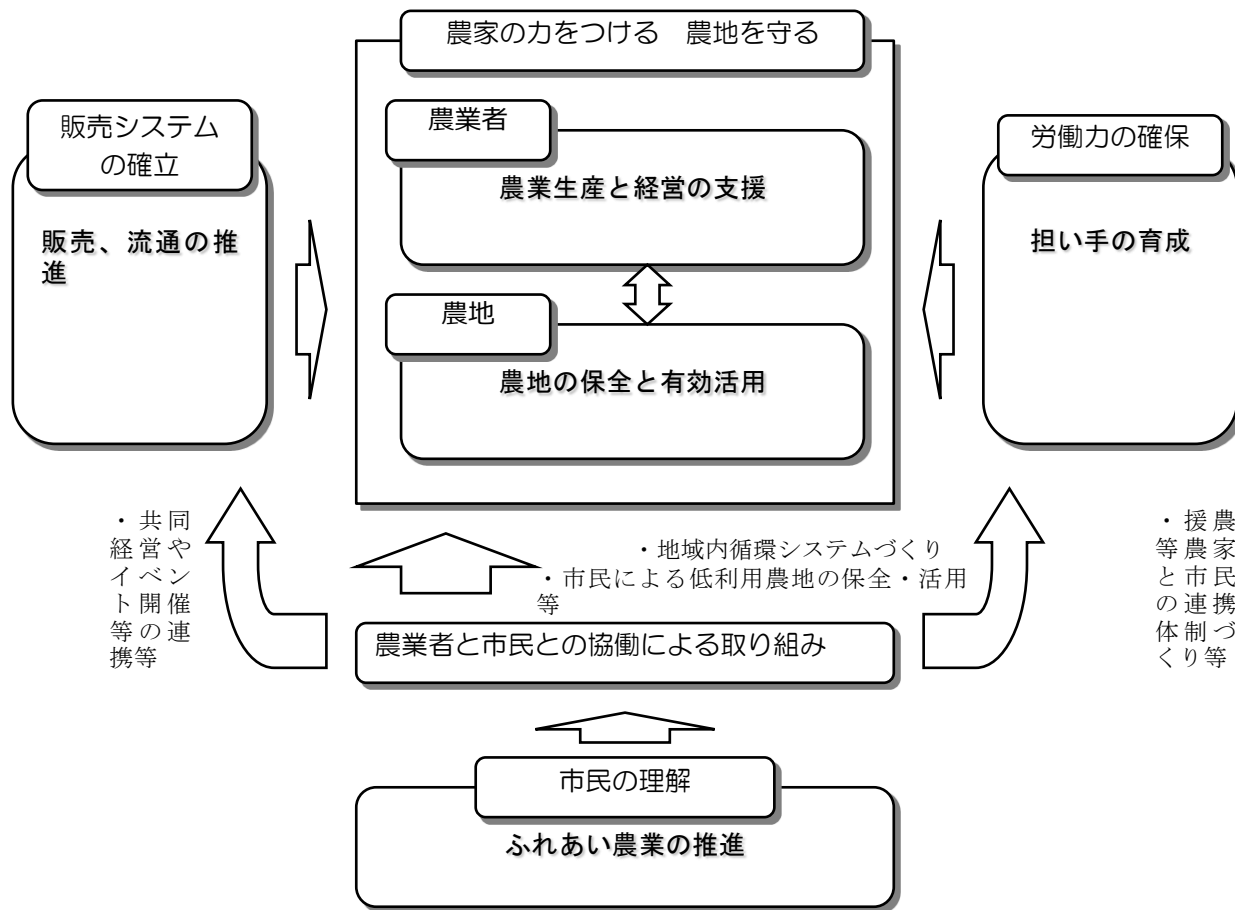
- ①結婚の希望をかなえる
- ②妊娠・出産期からの支援体制の充実
- ③子育て支援サービス・保育環境の充実
- ④子育てにおける多様な支援の充実

- ✓ 「地域力・民活力の高いまちをつくる」⇒ “しごと”

- ①市内における “しごと” をつくる
- ②大学との連携を推進する
- ③地域における “担い手” をつくる

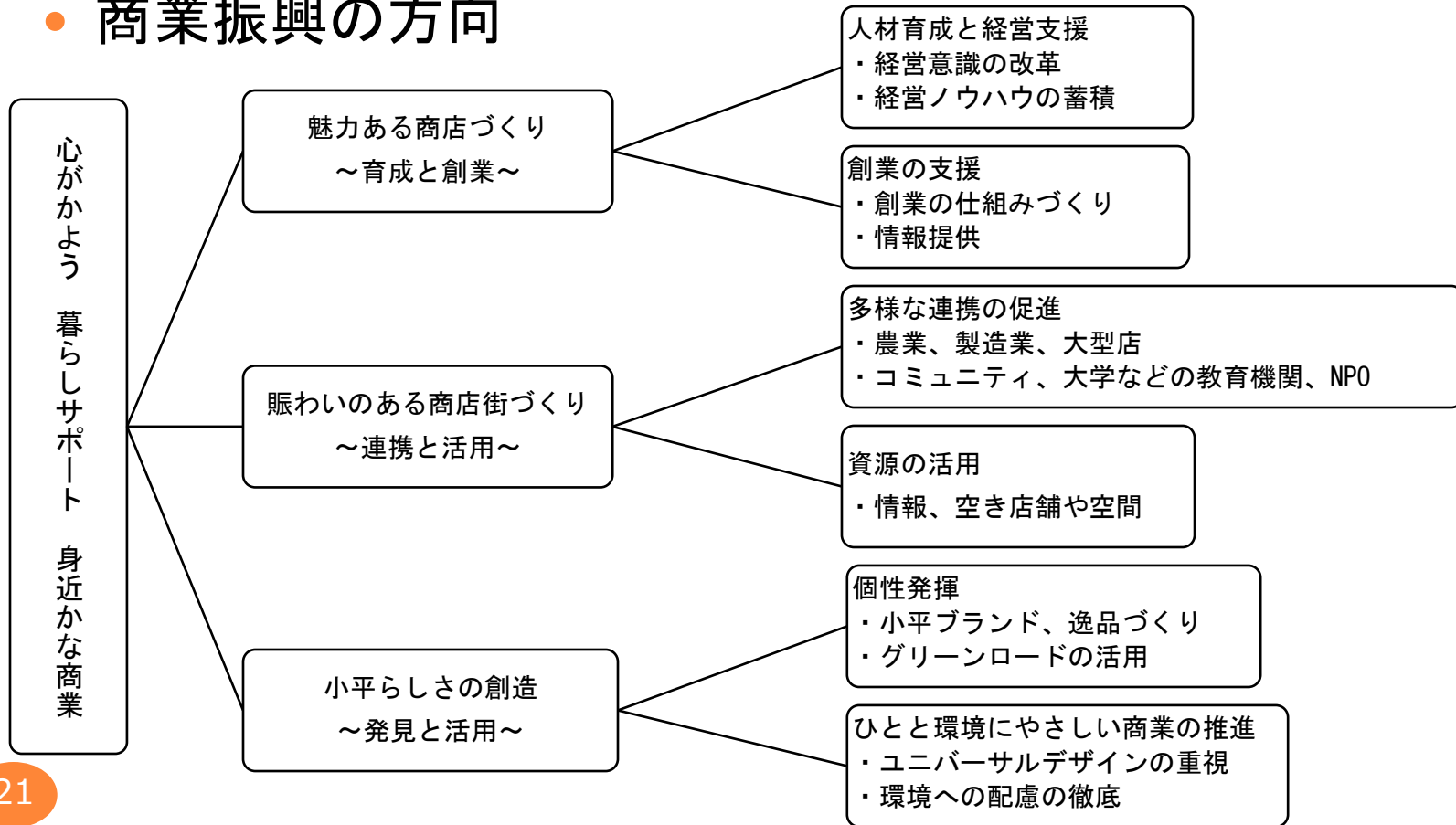
# 小平市第二次都市農業基本構想

～市民と共につくる農のある快適なまち こだいら～



# 小平市商業振興基本計画

## ● 商業振興の方向



# 小平市商店街の活性化に関する条例

- 目的

- ✓ 商店街が地域経済及び地域社会の発展に果たす役割の重要性から、商店街の活性化を図ることで、市民生活の向上に寄与することを目的とします。

- 基本理念

- ✓ 商店会及び事業者が相互に協力し、自らの創意工夫と自助努力により主導的役割を担うとともに、市民、商店会、事業者、経済関係団体及び市が協働して推進していくものです。

# 小平市商店街の活性化に関する条例

## ● 責務

### ✓ 商店会

- 市民と協力してにぎわいと交流の場を創出し、地域の課題を解決するための取組を進めるとともに、市民の利便性を向上するため快適な環境を整備することに努め、魅力ある商店街を形成する役割を担うこと
- 小平グリーンロードなどの地域の特性を生かした事業が商店街の活性化に寄与することを認識し、当該事業の実施又は支援に努めること
- 組織の基盤を強化するため、商店会相互の連携、会員の加入促進等に努めること

### ✓ 事業者

- 自らの創意工夫により経営基盤の強化、人材の育成、従業員の福利厚生の向上等に努めること
- 商店街の活性化を図るため、商店会に加入し、相互に協力するよう努めること
- 商店会が商店街の活性化に関する事業を行うときは、応分の負担をすることにより、当該事業に協力するよう努めること
- 経済関係団体又は市が行う商店街の活性化に関する事業に積極的に参加し、協力するよう努めること

### ✓ 経済団体

- 商店会と協力し、経営指導事業、創業支援事業その他の商店街の活性化に有効な事業を行うよう努めること
- 商店会が商店街の活性化に関する事業を行うときは、当該商店会に対し必要な指導及び支援を行うよう努めること

### ✓ 市

- 市民、商店会、事業者、経済関係団体、国及び東京都と相互に連携を図り、商店街の活性化に必要な施策を実施すること

## □ 市民の協力

- ✓ 商店街の活性化が地域の健全な発展と市民生活の向上に寄与することを認識し、商店街の活性化に関する事業に協力するよう努めること

# 小平市観光まちづくり振興プラン ～都会から一番近いプチ田舎～

- 基本理念
  - ✓ 「訪れたい、住み続けたい」の観光まちづくり
- 基本方針
  - ✓ 過ごしやすいまち
  - ✓ ゆったりしたまち
  - ✓ 活力のあるまち
- 3つの戦略
  - ✓ おもてなしの体制づくり
  - ✓ 情報発信環境の整備
  - ✓ 地域資源の活用



# 小平市都市計画マスタープラン

- まちの将来像  
みどりつながる快適生活都市 こだいら

誰もが快適さを感じられるまち

小平らしさが受け継がれるまち

人と人がつながるいきいきとしたまち

# 小平市都市計画マスタープラン

- まちづくりの目標

1. “顔”をもったまちをつくる

- ✓ 戦略1：鉄道駅中心拠点の形成
- ✓ 戦略2：鉄道駅中心拠点を結ぶ道路・交通ネットワークの充実

2. “みどり”を感じられるまちをつくる

- ✓ 戦略1：農や歴史を感じることができる公園などの整備
- ✓ 戦略2：身近なみどりの空間をつなぐ水と緑のネットワークの充実

3. “にぎわい”を育むまちをつくる

- ✓ 戦略1：鉄道駅中心拠点の形成に合わせた商業・業務機能などの誘導
- ✓ 戦略2：人のつながりや交流を育む場の整備

4. “ひと”にやさしいまちをつくる

- ✓ 戦略1：災害に強いまちづくりに向けた基盤整備
- ✓ 戦略2：低炭素まちづくりの実現に向けた検討
- ✓ 戦略3：健康まちづくりの推進

5. 市民の“ちから”を活かせるまちをつくる

- ✓ 戦略1：まちづくりに関する学びや気づきを得る機会の提供
- ✓ 戦略2：小平市民等提案型まちづくり条例の活用促進